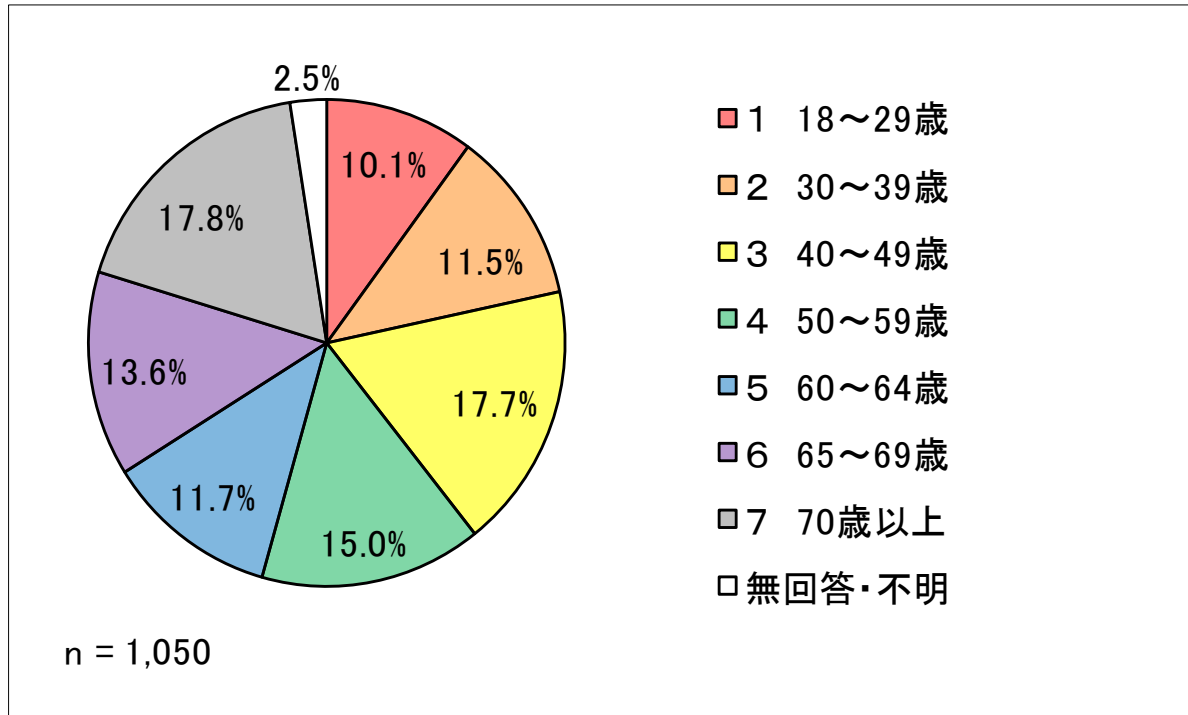


市民アンケート調査結果について

- **趣 旨** 第2次那須塩原市総合計画前期基本計画の基本施策における満足度・重要度調査を行うとともに、市民ニーズを把握し、総合計画後期基本計画策定のための基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施
- **調査対象** 満18歳以上の市民2,000人（無作為抽出）
- **調査方法** 郵送
- **調査期間** 令和2(2020)年1月10日（金）～1月30日（木）
- **回収率** 52.5%（有効回答者数1,050人）
- **調査内容**
 - ・ 回答者の属性
 - ・ 市の住みやすさ・愛着度
 - ・ 市の基本施策（38施策）に関する満足度・重要度調査
 - ・ 人口減少対策
 - ・ SDGsの認知度 など

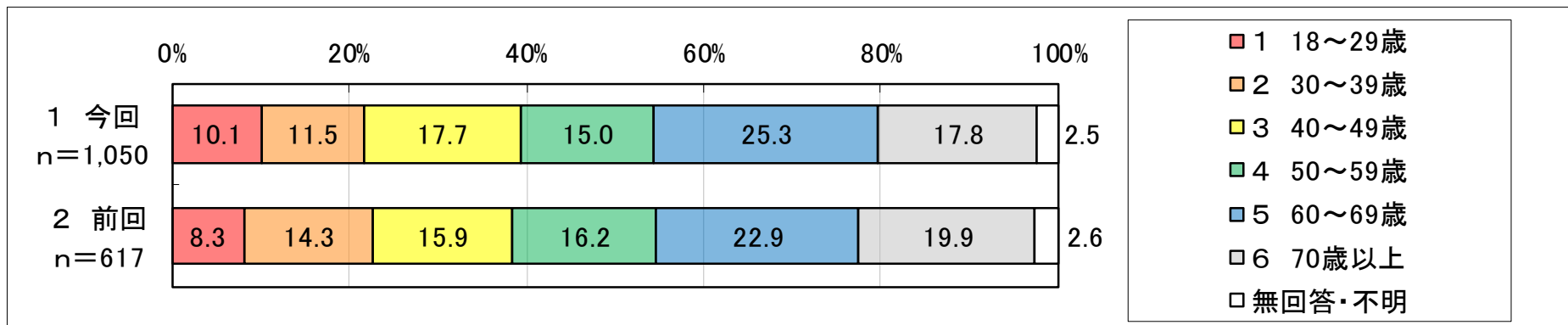
○ 回答者の年齢層



年齢別は回答数が多い順に、
 「60～69歳」25.3%*
 「70歳以上」17.8%
 「40～49歳」17.7%、
 「50～59歳」15.0%、
 「30～39歳」11.5%、
 「18～29歳」10.1%
 となります。

* 「60～64歳」「65～69歳」の合計

○ 前回（前期基本計画策定時）との比較



市民アンケート結果 市政まちづくりの満足度・重要度

○「第2次那須塩原市総合計画前期基本計画」の38施策の満足度・重要度

満足度

上位5項目

| 順位 | 基本施策 | 割合(%) |
|----|--------------------------|-------|
| 1 | (17)安全で安心な水道サービスを提供する | 57.3 |
| 2 | (3)循環型社会を構築する | 47.2 |
| 3 | (10)健康づくりを推進する | 46.0 |
| 3 | (18)持続的効果的な下水処理サービスを提供する | 46.0 |
| 5 | (1)自然環境を保全する | 39.4 |

下位5項目

| 順位 | 基本施策 | 割合(%) |
|----|----------------------|-------|
| 1 | (20)出会い・結婚を支援する | 6.2 |
| 2 | (27)雇用環境を整備する | 12.6 |
| 3 | (23)農林業を活性化させる | 13.2 |
| 4 | (12)計画的な土地利用を推進する | 14.0 |
| 5 | (21)姉妹都市交流・国際交流を推進する | 14.4 |

※満足度については、「満足している」「やや満足している」を合算した割合により算出

重要度

上位5項目

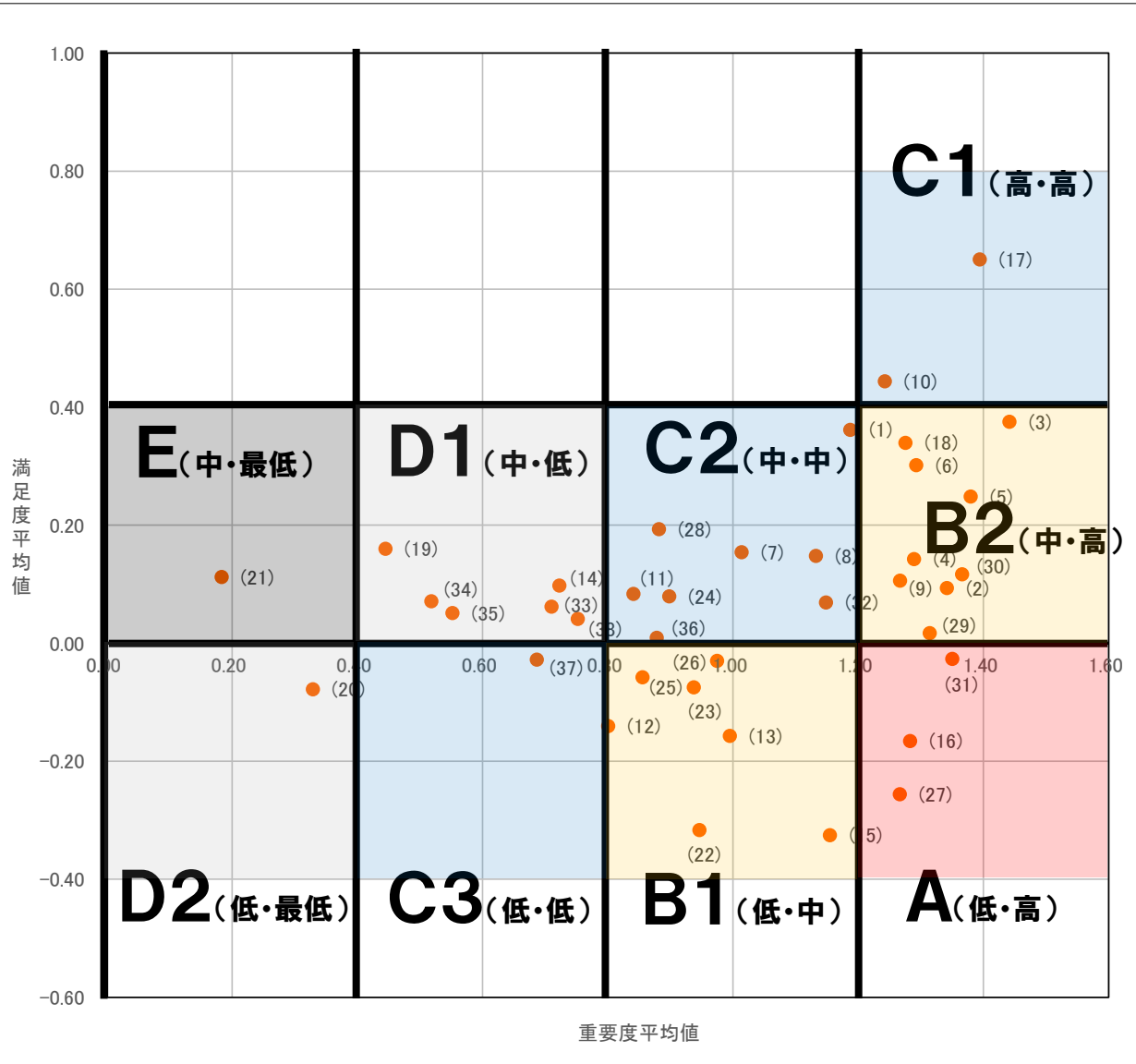
| 順位 | 基本施策 | 割合(%) |
|----|-----------------------|-------|
| 1 | (3)循環型社会を構築する | 83.1 |
| 2 | (17)安全で安心な水道サービスを提供する | 82.2 |
| 3 | (16)道路の利便性を高める | 81.8 |
| 4 | (5)災害に対する備えを強化する | 79.3 |
| 5 | (10)健康づくりを推進する | 78.6 |

下位5項目

| 順位 | 基本施策 | 割合(%) |
|----|-----------------------|-------|
| 1 | (21)姉妹都市交流・国際交流を推進する | 29.4 |
| 2 | (20)出会い・結婚を支援する | 36.0 |
| 3 | (19)市民協働による地域づくりを推進する | 41.2 |
| 4 | (34)芸術・文化環境を充実させる | 43.8 |
| 5 | (35)生涯スポーツを充実させる | 46.1 |

※重要度については、「重要である」「やや重要である」を合算した割合により算出

低い ← 要求度 → 高い
 黒字 グレー字 青字 橙字 赤字



- (1) 自然環境を保全する
- (2) 地球環境を保全する
- (3) 循環型社会を構築する
- (4) 生活環境を保全する
- (5) 災害に対する備えを強化する
- (6) 暮らしの安心感を高める
- (7) 地域福祉を充実させる
- (8) 障害者福祉を充実させる
- (9) 高齢者支援を充実させる
- (10) 健康づくりを推進する
- (11) 男女共同参画社会を実現させる
- (12) 計画的な土地利用を推進する
- (13) 良好な生活空間を提供する
- (14) 生活衛生環境を高める
- (15) 公共交通の利便性を高める
- (16) 道路の利便性を高める
- (17) 安全で安心な水道サービスを持続する
- (18) 持続的・効果的な下水処理サービスを提供する
- (19) 市民協働による地域づくりを推進する
- (20) 出会い・結婚を支援する
- (21) 姉妹都市交流・国際交流を推進する
- (22) 中心市街地を活性化させる
- (23) 農林業を活性化させる
- (24) 畜産業を活性化させる
- (25) 商工業を活性化させる
- (26) 観光を活性化させる
- (27) 雇用環境を整備する
- (28) 産業間の連携を強化する
- (29) 子育て環境を充実させる
- (30) 学校教育環境を整備する
- (31) 学校教育を充実させる
- (32) 健全な青少年を育成する
- (33) 生涯学習を充実させる
- (34) 芸術・文化環境を充実させる
- (35) 生涯スポーツを充実させる
- (36) 安定した行政経営を推進する
- (37) 多様化する市民ニーズに対応する
- (38) 地域の魅力を高める

【市民要求度】

平均値はウェイト付けして以下のとおり算出

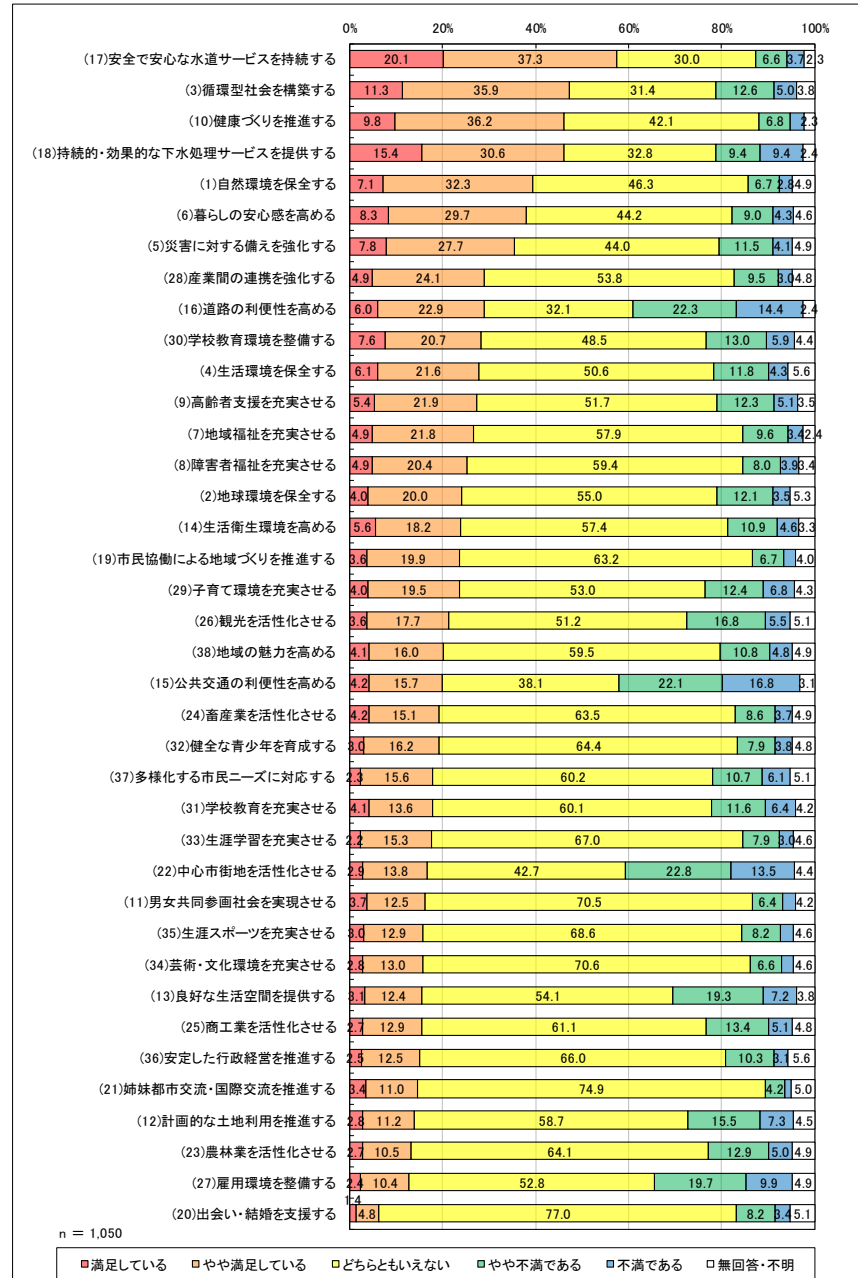
施策の満足度

$$\text{平均値} = \frac{2A+B+(-C)+(-2D)}{n-G}$$

- ・A 満足している：2点
- ・B やや満足している：1点

- ・C やや不満である：-1点
- ・D 不満である：-2点

- ・E どちらともいえない：0点
- ・G 無回答・不明：数から除外



【市民要求度】

平均値はウェイト付けして以下のとおり算出

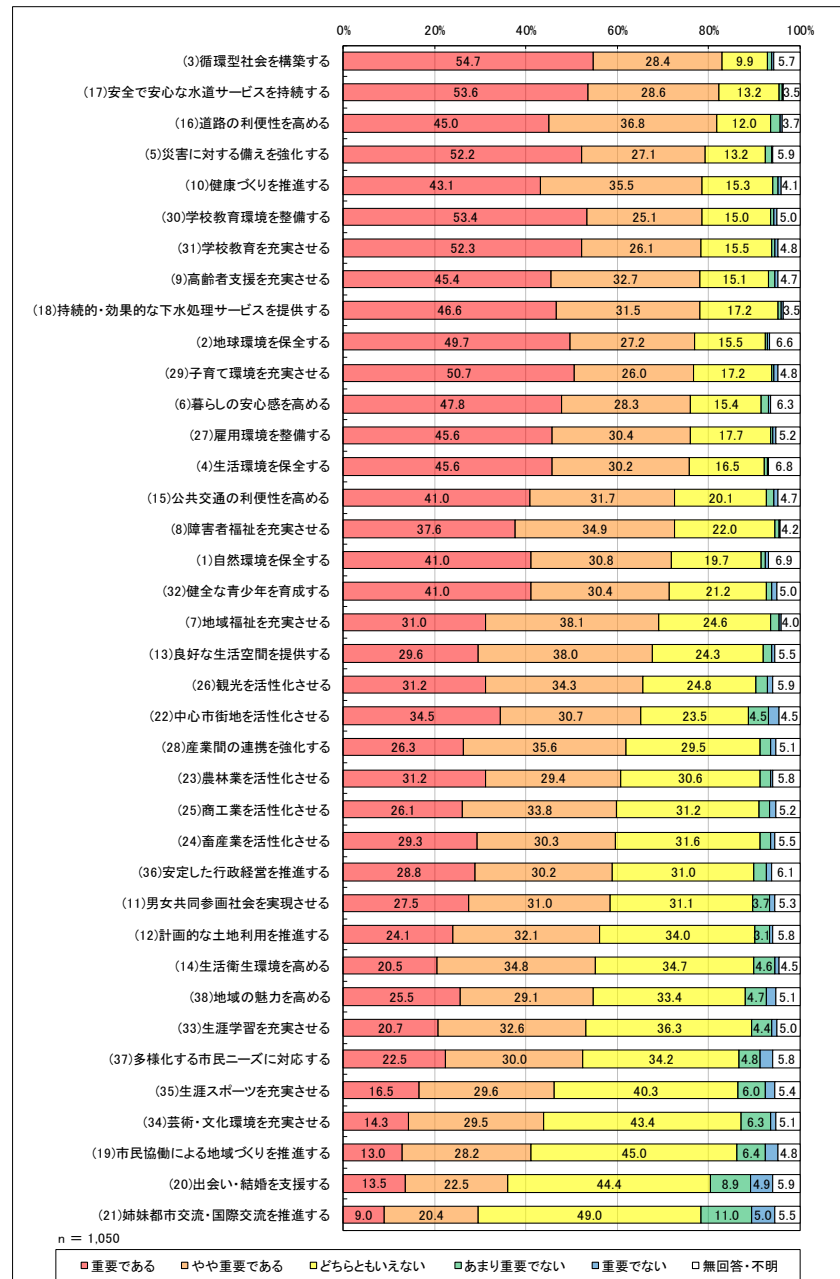
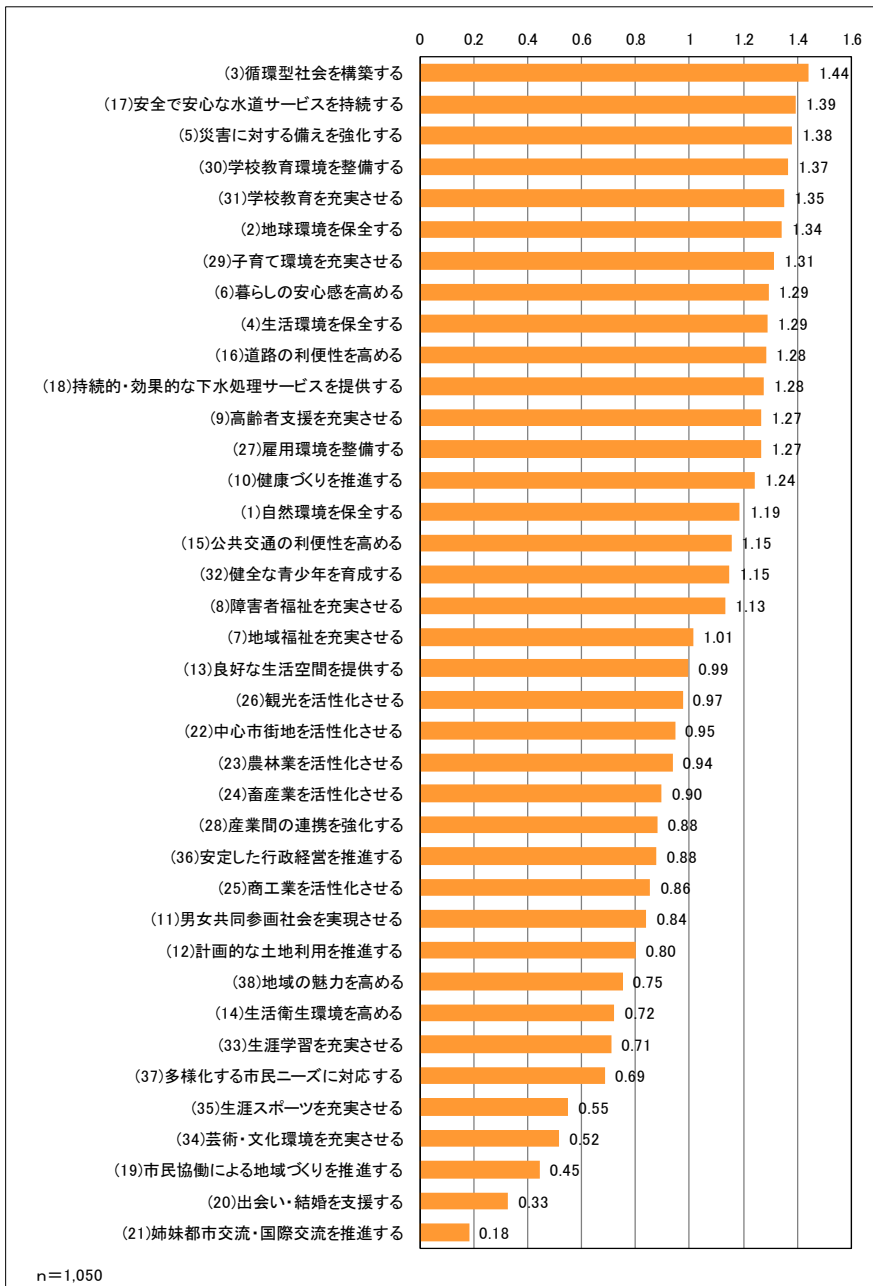
施策の重要度

$$\text{平均値} = \frac{2A+B+(-C)+(-2D)}{n-G}$$

- ・A 重要である：2点
- ・B やや重要である：1点

- ・C あまり重要でない：-1点
- ・D 重要でない：-2点

- ・E どちらともいえない：0点
- ・G 無回答・不明：数から除外



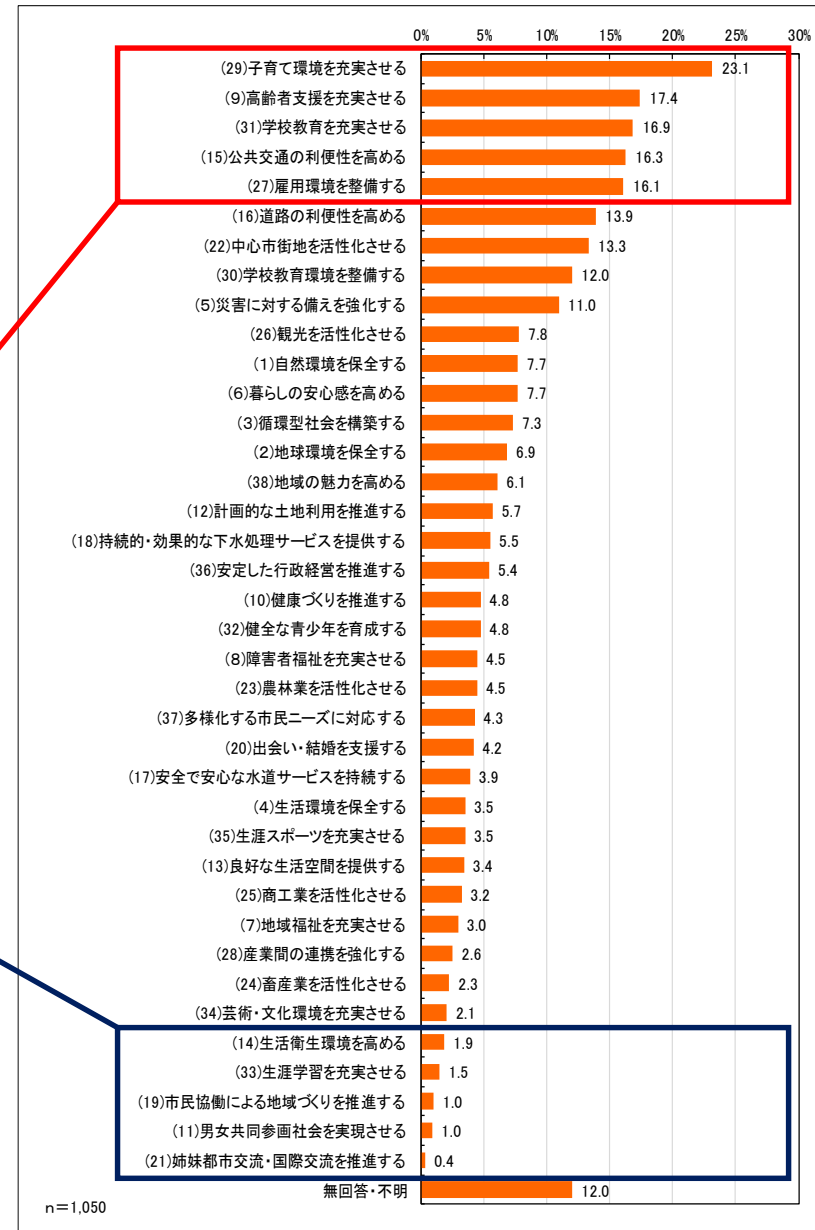
○ 今後5年間で優先的に取り組んで欲しいと思う施策

上位5項目

| 順位 | 基本施策 | 割合(%) |
|----|------------------|-------|
| 1 | (29)子育て環境を充実させる | 23.1 |
| 2 | (9)高齢者支援を充実させる | 17.4 |
| 3 | (31)学校教育を充実させる | 16.9 |
| 4 | (15)公共交通の利便性を高める | 16.3 |
| 5 | (27)雇用環境を整備する | 16.1 |

下位5項目

| 順位 | 基本施策 | 割合(%) |
|----|-----------------------|-------|
| 1 | (21)姉妹都市・国際交流を推進する | 0.4 |
| 2 | (11)男女共同参画社会を実現させる | 1.0 |
| 2 | (19)市民協働による地域づくりを推進する | 1.0 |
| 4 | (33)生涯学習を充実させる | 1.5 |
| 5 | (14)生活衛生環境を高める | 1.9 |



○市の住みやすさ

・住みやすい・どちらかといえば住みやすい 78.0% 前回78.8% (-0.8%)

【住みやすい理由】 1. 自然が豊かだから(57.8%)
2. 暮らしやすい気候だから(29.8%)
3. 長い移動を伴わずに生活できるから(コンパクトシティだから) (25.9%)

・住みにくい・どちらかといえば住みにくい 17.4% 前回15.6% (+1.8%)

【住みにくい理由】 1. 買い物や遊ぶ場所などが十分でないから (37.2%)
2. インフラ(上下水道、公共交通など)の整備が不十分だから (36.1%)
3. 日常生活に長い移動を伴うから(コンパクトシティでないから) (33.9%)

前回と比較し、ほとんど変化はありません。

性別では、ほとんど差はありません。年齢別では、年齢が高くなるほど「住みやすい」の回答が多くなる傾向が見られます。

○住み続けたい意向

・住み続けたい・市内の他の場所に移りたい 65.6% 前回71.9% (-6.3%)

・県内の他の市町に移りたい・県外に移りたい 7.9% 前回 8.2% (-0.2%)

前回と比べると「住み続けたい」が5.4ポイント低くなっています。

性別では、ほとんど差はありません。年齢別では、年齢が高くなるほど「住み続けたい」の回答が多くなっています。「18~29歳」と「70歳以上」では38.1ポイントの差が見られます。

○市への愛着度

- ・とても感じている・やや感じている 76.1% 前回75.8% (+0.3%)
- ・あまり愛着を感じていない・愛着を感じていない 13.2% 前回13.9% (-0.7%)

前回と比較して、大きな変化はありません。

性別では、ほとんど差はありません。年齢別では、年齢が高くなるほど「とても愛着を感じている」の回答が多くなっています。

○市を象徴するもの（キーワード）

※（ ）内の数値は回答数

【場所】

1. 温泉 (127)
2. 駅 (93)
3. 山〈岳・連山・連邦〉 (87)

【風景】

1. 山の風景 (39)
2. 山×駅の風景 (16)
3. 山×町・市内の風景 (6)

具体的な固有名についてみると、【場所】の第1位の「温泉」については、「塩原温泉」が50件、「板室温泉」が8件となっています。第2位の「駅」については、「那須塩原駅」が81件、「黒磯駅・黒磯駅周辺」7件、「西那須野駅」が2件とつづきます。

固有名詞でみると、最も多いのが「那須塩原駅」81件、「塩原温泉」50件、「那須山・那須岳・茶臼岳」34件、「千本松牧場・ホウライ牧場」30件、「那須ガーデンアウトレット」22件となります。

○市政・まちづくりの満足度

- ・満足している・どちらかといえば満足している 29.9% 前回29.0% (+0.9%)
- ・不満である・どちらかといえば不満である 19.4% 前回22.6% (-3.2%)

前回と比較すると、ほとんど変化はありません。

「満足している」「どちらかといえば満足している」について、性別では、「男性」が「女性」を若干、上回っています。年齢別では、年齢が高くなるほど、回答が多くなっています。居住地域別では、大きな差は見られません。

○人口減少対策（移住・定住促進施策）で重要な要素

1. 市内又は近隣で働く場所 58.2%
2. 子育て・保育環境の充実 30.8%
3. 地域公共交通網の充実 18.1%
4. 安全・安心なまちづくり 17.0%
5. 魅力ある観光地やイベントの充実 11.6%

属性別にみて、全体の上位5項目以外に、上位の項目として次の項目があげられています。

【性別】

男性：「首都圏への積極的な魅力発信」、女性：全体と同じ

【年齢別】

18～29歳：全体と同じ 30～39歳：「妊娠・出産への支援」「学校教育の充実」

40～49歳：「学校教育の充実」 50～59歳：全体と同じ 60～64歳：「首都圏への積極的な魅力発信」

65～69歳：「首都圏への積極的な魅力発信」 70歳以上：全体と同じ

OSDGsの認知度

- ・知っている・なんとなく知っている 13.7%
- ・知らない・聞いたことがあるがよく知らない 85.5%

「知っている」「聞いたことがあり、なんとなく知っている」を合計した『知っている』について、性別では「男性」が女性を上回っています。年齢別では年齢が若いほど、『知っている』の回答が多くなる傾向が見られます。職業別では「学生」が最も多く、「給与所得者」「無職」「専業主婦・主夫」と続きます。

第2次那須塩原市総合計画後期基本計画策定に関する市民アンケート調査結果報告書（那須塩原市公式ホームページ内）



URL : <http://www.city.nasushiobara.lg.jp/01/documents/siminnanke-tor2.pdf>